

ID ^{注1)}	031118	公開レベル ^{注1)}	C	保管形式 ^{注1)}	紙	保管場所 ^{注1)}		前回ID	
-------------------	--------	----------------------	---	---------------------	---	---------------------	--	------	--

報告書名称 /調査名称	白神山地世界遺産地域の森林生態系保全のためのモニタリング手法の確立と外縁部の森林利用との調和を図るための森林管理に関する研究報告書（平成10～14年度）／ 榊山斜面地における繁殖鳥類群集調査	発行年月/報告年月	
		2004年	2月
		資料形式 ^{注2)}	報告書

調査機関	環境省自然環境局 東北地区自然保護事務所	委託機関	由井正敏(岩手県立大学総合政策学部)
------	----------------------	------	--------------------

調査開始年	1998年	10月	調査期間	1999年	6月	～	2001年	6月
-------	-------	-----	------	-------	----	---	-------	----

調査頻度 ^{注2)}	毎年	1	回	調査時期 ^{注2)}	夏	—	—
---------------------	----	---	---	---------------------	---	---	---

モニタリング計画	2012年3月	策定	区分 ^{注2)}	ⅡB	大区分 ^{注2)}	2	小区分 ^{注2)}	(1)
----------	---------	----	-------------------	----	--------------------	---	--------------------	-----

調査箇所・範囲 ^{注3)}	目的・調査手法
------------------------	---------

核心地域 緩衝地域 周辺地域

GPS等の位置データあり

※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。

■調査目的
今回の総合調査においては、白神山地の環境や生態系の変化をモニタリングする指標の1つとして、ブナ自然林の繁殖鳥類群集を取り上げた。本調査では、長期モニタリングに適した繁殖鳥類群集モニタリングサイトを設定するとともに、他の調査班のサイトや登山道沿いを含め実際に繁殖鳥類群集を4カ年にわたり調査した。

■調査方法
白神山地の世界自然遺産地域内における繁殖鳥類群集の長期モニタリング研究に適するブナ自然林のメインサイトを1998年10月に探索した。最終的に1999年6月に榊山南面尾根上の平坦地にメイン調査区を設定し、10haの矩形の区域をセンサス対象地とした。同年11月にはこのメイン調査区の調査用周回路上にプラスチック製の白色杭を22本打設した。

1999年～2001年の3カ年にわたり繁殖最盛期である6月に各年5～10回のなわばり記号法センサスを行い、繁殖鳥類群集のなわばり数を調査した。

また、赤石川本流ヤナダキの森と榊山南面中腹部に設定された植生班モニタリングサイトにおいて2000年と2001年の6月に区画待機センサスを行った。

さらに、榊山南面尾根からヤナダキの森サイトに至る登山ルート沿いに約2kmのラインセンサス調査区を設けて、上記2つの手法を補完するデータを取ることにした。ここでは、2000年と2001年6月の繁殖期の早朝に観察半径50mのラインセンサスを行った。また、2002年には季節的变化を探るため7月に同様のセンサスを行った。

結果概要（スペースに収まるように入力してください）

ブナ林地帯における繁殖鳥類群集の長期モニタリング手法を確立するため、センサス法の異なるモニタリング調査サイトを設定し4カ年にわたりセンサスを行ってその結果、なわばり記号法、ラインセンサス法、区画待機センサス法の長所、短所がある程度明らかになった。全体としては、サンプル数にもよるがどの方法も各サイトの群集構造、生息種数、生息密度及びそれらの年次変化を把握することが可能であった。

なわばり記号法は繁殖期の鳥類群集を精密に把握するのに適した手法であるが、特にこの白神山地のように林床にササが密生する場所では、歩行や観察が難儀である。また、区域を設定して地図化し、標識杭を打設するのに手間がかかる。ラインセンサス法は、既存のルートを利用できれば簡便であるが、地形・気象条件や雑音の影響が出る。その点で区画待機センサス法(プロットセンサス法とほぼ同じ)ルートがなくササが繁っていても、プロットをランダムに設定できれば簡便に調査を行うことができる。ただし、サンプル数を多くする必要がある。また、高精度のGISを用いれば、センサスプロットの再現はある程度可能と思われる。

問い合わせ	環境省東北地方環境事務所 西目屋自然保護官事務所 〒036-1411 青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田61-1 TEL:0172-85-2622 FAX:0172-85-2635 ――― 《原本(データ)の帰属について》
-------	--

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。
注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。
注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

備 考

表1 白神山地モニタリング調査地の繁殖鳥類センサス結果

種 名	櫛石平			ヤナダキ沢			ヤナダキ沢		中腹区	
	99年	00年	01年	00年	01年	02年	00年	01年	00年	01年
	なわばり記号			ラインセンサス			区画センサス			
コルリ	6	4	4	2	4		1		-	1
ヒガラ	5	8	6	4	2		1		2	1
キビタキ	4.5	8	9	6	8	8	1	3	2	5
ゴジュウカラ	3.5	3	3.5		2		1	1	1	4
シジュウカラ	3	4	5	2	2	2	1	4	1	3
ヤマガラ	2	0.5	1		1	2	1			1
コガラ	2	1	2.5	1		2				2
アカゲラ	1.5	1.5	1.5	1	3				1	2
センダイムシクイ	1	-	2	1	3					1
カケス	1	0.5	1	1	1	1	1	-	1	2
クロジ	1	-	1	2						
ジュウイチ	0.5									
コゲラ	0.5	0.5	1		1			1		
ウグイス	0.5	0.5	+		1			-		
エナガ	0.5	-	1	2	2					
キジバト	0.5	0.5		1						
クマゲラ		0.5	+							-
ヤブサメ		1	2	3	3	2	1	1		1
アオゲラ	+	1	0.5							
トラツグミ	+	1	+	-						-
オオルリ		-	0.5	1	3			-		
ツツドリ	+	0.5	+	-	-			-		-
キセキレイ		-	+	-						
カッコウ	+									
ウソ	+									
メジロ	+									
ヤマドリ	+									
ハリオアマツバメ	+	+	+							
クマタカ	-									
ホトトギス	-	-								
アオバト	-	+	-		2		-	-		-
コノハズク	-	+	-							
アカショウビン	-	-	-	+						
ハシブトガラス	-	-	-				1			-
クロツグミ	-		-							1
ミソサザイ	-			3	3	4				
エゾムシクイ	-		+	2	2	1	1	2		
カワガラス	-		2	2		1	2			
オオアカゲラ			+							
マミジロ			-							
アカハラ			-		-					-

注：表の+印は区域内で1回記録されたもの、-印は観察半径以遠で記録されたもの。